

II 施策評価・進捗管理調書

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
子ども未来課	小西 智恵子

重点目標	1 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します
------	-------------------------

基本の方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。
-------	--

1. 施策の方向性

PLAN

1. 就学前教育の環境整備	①「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に関わらず、就学前教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。 ②子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ③職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。
2. 保幼小の連携強化	①保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、幼稚園及び小学校で実施します。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市保育所再編等推進計画	将来にわたり子どもたちにとってより良い保育を保障するため、地域の特性に配慮しながら、小規模保育所等の統廃合及び社会福祉法人への運営委託等を具体的に進めるために策定	平成23年3月	平成23年度～平成27年度	第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定(平成29年度～平成33年度)
京丹後市子ども・子育て支援計画	市における子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境づくりを一層進めるため策定	平成27年3月	平成27年度～平成31年度	

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

※各事業の評価・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK

AGT

1. 就学前教育の環境整備		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に関わらず、就学前教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。					
② 子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。					
③ 職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。					
1 保育所管理運営事業	子ども未来課	128,364	145,074	241,558	縮小
施設の維持管理に努め、円滑な保育所運営を実施する。					
2 保育業務委託事業	子ども未来課	539,692	625,276	540,171	現状維持
保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。					
3 保育所保育事業等補助金	子ども未来課	25,129	29,918	34,386	現状維持
私立保育所が事業を円滑に実施するための体制作り等に対して補助金を交付し、特別保育事業を推進する。					
4 子育て支援センター事業	子ども未来課	12,651	12,257	15,195	拡大
保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。					
5 保育支援事業	子ども未来課			3,451	現状維持
保護者が疾病等で養育することが一時的に困難になった場合に当該児童を乳児院等に入所させ必要な保護を行う。また、病気等の回復期にあり集団保育や登校が困難な児童を保育施設等で看護する。					
子育て短期支援事業	子ども未来課	665	684		
保護者が就労や疾病等の理由により家庭で養育することが一時的に困難となった場合、該当児童を乳児院等で一定期間養育し、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。					
病後児保育事業	子ども未来課	2,407	2,415		
病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童を一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立等を支援するとともに、児童の福祉の向上を図る。					

6 保育所一般経費	子ども未来課	465,198	479,749	1と、15の事業にわたる	
保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。					
7 園児等健康管理事業	子ども未来課	344	274	65	終了・廃止
幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。					
8 幼稚園スクールサポーター等設置事業	子ども未来課	32,616	36,545	7,448	終了・廃止
幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正かつ円滑な幼稚園運営を行う。					
9 幼稚園管理運営事業	子ども未来課	12,524	13,833	4,430	終了・廃止
適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実に図る。					
10 幼稚園施設管理事業	子ども未来課	1,385	30,819	130	終了・廃止
幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。					
11 教育利用管理運営事業	子ども未来課			45,244	現状維持
認定こども園(1号認定児)の運営が円滑に行えるよう、児童の健康管理や臨時職員の雇用を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。					
12 保育利用管理運営事業	子ども未来課			548,712	現状維持
認定こども園(2号・3号認定児)の運営が円滑に行えるよう、職員研修・児童の健康管理や臨時職員の雇用を行うほか、給食調理業務、幼児送迎業務を実施する。また、私立認定こども園に対し施設給付を行うとともに、市外の認定こども園を利用した際の施設給付を行う。					
2. 保幼小の連携強化		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課			
① 保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、幼稚園及び小学校で実施します。					
13 小中一貫教育推進事業(再掲)	学校教育課	-	-	-	現状維持
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
14 保育所整備事業	子ども未来課			91,971	休止
平成31年度開設予定の網野こども園への意向をスムーズに行うため、網野みなみ保育所の環境整備工事を実施する。また、統廃合により空き施設となっている老朽化した旧保育所施設について2施設を解体する。					
15 保育所施設管理事業	子ども未来課	-	-	4,298	現状維持
適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。					
16 認定こども園施設管理事業	子ども未来課			4,241	現状維持
適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。					
17 ファミリーサポートセンター事業	子ども未来課	76	65	68	現状維持
子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。					
18 子ども未来まちづくり審議会事業	子ども未来課	194	66	184	現状維持
すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画等、特定教育・保育施設の利用定員の設定を審議する。					
計		1,221,245	1,376,975	1,538,101	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。						
	目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度	目標値 年度		
主な目標指標	幼稚園の数	園	4 H25	6 H29	6 H36		
	病後児保育の実施事業所数	事業所	0 H25	1 H29	1 H36		
	子育て支援センター数	か所	7 H25	8 H29	8 H36		
	一時預かり実施事業所数	事業所	6 H25	10 H29	9 H36		
	保育所・幼稚園職員の全体研修数	回	3 H25	2 H29	5 H36		

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	29年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる ○ 予定どおり進んでいる ▲ 少し遅れている × 大幅に遅れている	○	<p>《幼稚園の数》 第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定し、平成33年度までの5ケ年を期間として、①保育所の再編、②民営化の検討、③認定こども園への移行などを定めている。5つのこども園を認定こども園に移行し、31年度には網野幼稚園を認定こども園に移行する。</p> <p>《病後児保育の実施事業所数》 平成27年度の開設から3年目を迎え、徐々に利用が増加した。課題としては、特に子育て世代に、この制度の存在を伝える広報活動の推進がある。</p> <p>《子育て支援センター数》 市内8か所で開設しており、保健師、助産師など専門職が子育て相談に対応するとともに、子育て世代間の友達づくり、情報共有など居場所を提供することができた。課題は、スペースの関係で児童の年齢に応じたクラス編成により、利用の曜日を決めるといった調整をせざるを得ない点がある。</p> <p>《一時預かり実施事業所数》 平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができた。</p> <p>《保育所・幼稚園職員の全体研修数》 年3回の研修を計画していたが、冬期における研修で大雪警報等が発令される荒天のため、開催を中止した。職員の資質向上は、教育・保育を提供する上で課題でもあるため、これ以外にも機会を捉えて研修を実施していく必要がある。</p>

5. 今後の施策展開の考え方(平成30～32年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	保育所の利用において、0～2歳の低年齢児の利用が増える傾向にあり、このニーズに応える保育所の運営を続けるとともに、平成27年3月に策定した京丹後市子ども・子育て支援事業計画と整合性を図りつつ、今後も子育て支援の施策の充実を図る。なお、旧6町域すべてに設置していた幼稚園は、平成30年度に5施設、平成31年度に1施設を「認定こども園」に移行運営する。
	2	「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園で保幼小の情報共有や教職員の交流と相互理解を深めるなど、小学校教育への円滑な接続を図るための取組みの充実を図る。

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	02保育所管理運営事業	決算書	P.96																																																																																								
細事業名	01 保育所管理運営事業				決算書																																																																																									
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					(参考)当初予算額																																																																																								
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率																																																																																								
145,074千円		145,431千円		357千円		99.7%																																																																																								
目的	施設の維持管理に努め、円滑な保育所運営を実施する。																																																																																													
主要な事務・事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>峰山町</th> <th>大宮町</th> <th>網野町</th> <th>丹後町</th> <th>弥栄町</th> <th>久美浜町</th> <th>計</th> <th>保育所数</th> <th>3歳未満児童数</th> <th>3歳以上児童数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>79</td> <td>127</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>38</td> <td>68</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>76</td> <td>141</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>49</td> <td>65</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>49</td> <td>82</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>58</td> <td>113</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> <td>349</td> <td>596</td> <td>945</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H30.3.31現在)</p> <p><支出内訳> ○保育所の運営に関する経費 (89,886 千円) ・保育材料費ほか消耗品費 13,146千円 ・給食諸材料費 71,923千円 ・施設備品、保育備品 4,654千円 ・コピー機等借上料 163千円</p> <p>○施設の維持管理に関する経費 (55,188 千円) ・燃料費、光熱水費 33,621千円 ・通信運搬費 982千円 ・施設・備品等一般修繕 4,621千円 ・清掃用具借上料 307千円 ・手数料 410千円 ・浄化槽維持管理 1,427千円 ・施設整備委託料 609千円 ・その他委託料 3,140千円 ・工事請負費 10,071千円</p> <p>網野みなみ保育所工1)更新工事等 8,109千円 大宮こども園電話装置交換工事 820千円 久美浜保育所工1)更新工事 1,142千円</p>						峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計	保育所数	3歳未満児童数	3歳以上児童数	合計								2	79	127	206								1	38	68	106								4	76	141	217								2	49	65	114								1	49	82	131								2	58	113	171								12	349	596	945
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計	保育所数	3歳未満児童数	3歳以上児童数	合計																																																																																				
							2	79	127	206																																																																																				
							1	38	68	106																																																																																				
							4	76	141	217																																																																																				
							2	49	65	114																																																																																				
							1	49	82	131																																																																																				
							2	58	113	171																																																																																				
							12	349	596	945																																																																																				
主な財源	<table border="1"> <thead> <tr> <th>負担金</th> <th>国庫補助金</th> <th>町補助金</th> <th>諸収入</th> <th>市債</th> <th>保育料現年度分</th> <th>多子世帯保育料減免市町村交付金(1/2)</th> <th>保育所広域域入所児童委託保育料</th> <th>保育所職員給食費、幼稚園給食費、延長保育間食負担金</th> <th>児童福祉施設整備事業債(過疎対策債)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>27,880千円</td> <td>4,785千円</td> <td>4,658千円</td> <td>23,593千円</td> <td>8,800千円</td> </tr> </tbody> </table>						負担金	国庫補助金	町補助金	諸収入	市債	保育料現年度分	多子世帯保育料減免市町村交付金(1/2)	保育所広域域入所児童委託保育料	保育所職員給食費、幼稚園給食費、延長保育間食負担金	児童福祉施設整備事業債(過疎対策債)						27,880千円	4,785千円	4,658千円	23,593千円	8,800千円																																																																				
負担金	国庫補助金	町補助金	諸収入	市債	保育料現年度分	多子世帯保育料減免市町村交付金(1/2)	保育所広域域入所児童委託保育料	保育所職員給食費、幼稚園給食費、延長保育間食負担金	児童福祉施設整備事業債(過疎対策債)																																																																																					
					27,880千円	4,785千円	4,658千円	23,593千円	8,800千円																																																																																					
成果・課題	<p>○入所児童に対し適切な教育・保育を提供するための環境整備や安心安全な給食提供を行うことができた。</p> <p>○老朽化等に伴う施設内部の修繕工事を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。</p> <p>○老朽化している施設や設備において大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に改修を行う必要がある。</p>																																																																																													
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																																																																																													

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業	決算書	P.96																					
細事業名	01 保育業務委託事業				決算書																						
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					(参考)当初予算額																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率																					
625,276千円		625,309千円		33千円		99.9%																					
目的	保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。																										
主要な事務・事業の概要	<p>民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に2か月以上児から2歳児まで、「ゆうかり子ども園」「あみの夢保育園」「こよりゆう虹保育園」に6か月以上児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」の運営を社会福祉法人に委託することにより、産休明け・育児明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等、保護者の保育ニーズに対応した。</p> <p>○乳児保育委託料 ・ゆうかり乳児保育所 定員30人 平成30年3月末入所児童数：33人 67,476千円</p> <p>○公立保育所運営委託料 ・大宮北保育所 定員230人 平成30年3月末入所児童数：216人 205,906千円</p> <p>○保育所運営委託料 ・あみの夢保育園 定員90人 平成30年3月末入所児童数：105人 225,266千円 108,033千円</p> <p>・こよりゆう虹保育園 定員120人 平成30年3月末入所児童数：134人 117,233千円</p> <p>○認定こども園施設給付費 ・ゆうかり子ども園 定員150人 平成30年3月末入所児童数：182人 126,628千円</p>																										
主な財源	<table border="1"> <thead> <tr> <th>負担金</th> <th>国庫補助金</th> <th>町補助金</th> <th>諸収入</th> <th>市債</th> <th>保育料現年度分</th> <th>子どものための教育 保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金</th> <th>子どものための教育 保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金</th> <th>民間社会福祉施設サービス向上補助金</th> <th>繰入金・雑収入</th> <th>ふるさと応援基金繰入金、一時預かり事業利用料、保育所延長保育料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>72,575千円</td> <td>159,782千円</td> <td>82,578千円</td> <td>1,059千円</td> <td>50,333千円</td> </tr> </tbody> </table>						負担金	国庫補助金	町補助金	諸収入	市債	保育料現年度分	子どものための教育 保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	子どものための教育 保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	民間社会福祉施設サービス向上補助金	繰入金・雑収入	ふるさと応援基金繰入金、一時預かり事業利用料、保育所延長保育料						72,575千円	159,782千円	82,578千円	1,059千円	50,333千円
負担金	国庫補助金	町補助金	諸収入	市債	保育料現年度分	子どものための教育 保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	子どものための教育 保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	民間社会福祉施設サービス向上補助金	繰入金・雑収入	ふるさと応援基金繰入金、一時預かり事業利用料、保育所延長保育料																	
					72,575千円	159,782千円	82,578千円	1,059千円	50,333千円																		
成果・課題	<p>保育を委託することで、保育時間の延長や休日保育など保護者の保育ニーズに対応した保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。</p>																										
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																										

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業	決算書	P.96												
細事業名	02 保育所保育事業等補助金																	
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額														
29,918千円	30,047千円	129千円	99.5%	35,136千円														
目的	私立保育所が事業を円滑に実施するための体制作り等に対して補助金を交付し、特別保育事業を推進する。																	
主要な事務・事業の概要	<p>○ゆうかり乳児保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代他) ・民間社会福祉施設サービス向上事業(駐車場照明器具取替他) <p>○ゆうかり子ども園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代他) ・民間社会福祉施設サービス向上事業(食器洗浄機購入等) ・一時預かり事業(配属保育士の人件費) ・障害児保育事業(加配職員の人件費) ・防犯対策強化整備事業(玄関扉自動施錠、インターホン設置他) <p>○あみの夢保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代他) ・民間社会福祉施設サービス向上事業(幼児用エアコン購入等) ・一時預かり事業(配属保育士の人件費) ・障害児保育事業(加配職員の人件費) <p>○こうりゅう虹保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業(人件費、光熱水費、おやつ代他) ・民間社会福祉施設サービス向上事業(巧技台購入等) ・一時預かり事業(配属保育士の人件費) ・障害児保育事業(加配職員の人件費) ・通所バス運行事業 																	
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>国補</td> <td>子ども・子育て支援交付金(1/3)</td> <td>2,920千円</td> </tr> <tr> <td>国補</td> <td>保育所等整備交付金(3/4)</td> <td>363千円</td> </tr> <tr> <td>府補</td> <td>子ども・子育て支援交付金(1/3)</td> <td>2,321千円</td> </tr> <tr> <td>府補</td> <td>民間社会福祉施設サービス向上補助金(1/2)</td> <td>2,958千円</td> </tr> </table>						国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	2,920千円	国補	保育所等整備交付金(3/4)	363千円	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	2,321千円	府補	民間社会福祉施設サービス向上補助金(1/2)	2,958千円
国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	2,920千円																
国補	保育所等整備交付金(3/4)	363千円																
府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	2,321千円																
府補	民間社会福祉施設サービス向上補助金(1/2)	2,958千円																
成果・課題	<p>○延長保育や一時預かりなどを推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。</p> <p>○施設修繕や保育用品購入及び加配職員の配置への支援を行い、保育の受入体制を整え、多様な保育ニーズに対応した。</p>																	
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																	

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	04子育て支援以外の事業	決算書	P.96																																																							
細事業名	01 子育て支援以外の事業																																																												
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																																																											
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額																																																									
12,257千円	12,670千円	413千円	96.7%	15,227千円																																																									
目的	保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。																																																												
主要な事務・事業の概要	<p>幼稚園入園前・保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士の間ふれあいの場として、8か所の支援センターを設置することで、地域に密着した子育て支援を推進した。</p> <p>また、11月6日に開催した子育て講演会「うたあそび・リズムあそび」は、保護者96人、子ども103人、計199人の参加があった。</p> <p>○支援センター利用数</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">地域子育て支援センター</td> <td colspan="2">延べ利用人数</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>保護者</td> </tr> <tr> <td>峰山</td> <td>2,014人</td> <td>1,767人</td> </tr> <tr> <td>大宮北</td> <td>2,093人</td> <td>1,773人</td> </tr> <tr> <td>大宮南</td> <td>1,044人</td> <td>1,015人</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>1,743人</td> <td>1,564人</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>1,196人</td> <td>1,103人</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>1,050人</td> <td>953人</td> </tr> <tr> <td>かふと山</td> <td>1,680人</td> <td>1,302人</td> </tr> <tr> <td>こうりゅう</td> <td>1,438人</td> <td>1,321人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,258人</td> <td>10,798人</td> </tr> </table> <p>※年間各10回実施 ○なかよし広場</p> <p>○親子リフレッシュ体験教室</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">クラス</td> <td colspan="2">延べ利用人数</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>保護者</td> </tr> <tr> <td>バビー</td> <td>160人</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>リトルキッズ</td> <td>86人</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>キッズ</td> <td>93人</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>339人</td> <td>307人</td> </tr> </table> <p>※毎月1回</p> <p>○臨時職員賃金及び共済費 9,055千円</p> <p>○子育て講座・親子体験教室講師謝礼 192千円</p> <p>○旅費 8千円</p> <p>○通信運搬費・手数料 222千円</p> <p>○その他経費(消耗品費等) 548千円</p> <p>○支援センター運営委託料(こうりゅう虹保育所)</p> <table border="1"> <tr> <td>国補</td> <td>子ども・子育て支援交付金(1/3)</td> <td>3,270千円</td> </tr> <tr> <td>府補</td> <td>子ども・子育て支援交付金(1/3)</td> <td>3,270千円</td> </tr> </table>						地域子育て支援センター	延べ利用人数		児童	保護者	峰山	2,014人	1,767人	大宮北	2,093人	1,773人	大宮南	1,044人	1,015人	網野	1,743人	1,564人	丹後	1,196人	1,103人	弥栄	1,050人	953人	かふと山	1,680人	1,302人	こうりゅう	1,438人	1,321人	合計	12,258人	10,798人	クラス	延べ利用人数		児童	保護者	バビー	160人	150人	リトルキッズ	86人	79人	キッズ	93人	78人	合計	339人	307人	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,270千円	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,270千円
地域子育て支援センター	延べ利用人数																																																												
	児童	保護者																																																											
峰山	2,014人	1,767人																																																											
大宮北	2,093人	1,773人																																																											
大宮南	1,044人	1,015人																																																											
網野	1,743人	1,564人																																																											
丹後	1,196人	1,103人																																																											
弥栄	1,050人	953人																																																											
かふと山	1,680人	1,302人																																																											
こうりゅう	1,438人	1,321人																																																											
合計	12,258人	10,798人																																																											
クラス	延べ利用人数																																																												
	児童	保護者																																																											
バビー	160人	150人																																																											
リトルキッズ	86人	79人																																																											
キッズ	93人	78人																																																											
合計	339人	307人																																																											
国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,270千円																																																											
府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,270千円																																																											
主な財源	<p>○臨時職員賃金及び共済費 9,055千円</p> <p>○子育て講座・親子体験教室講師謝礼 192千円</p> <p>○旅費 8千円</p> <p>○通信運搬費・手数料 222千円</p> <p>○その他経費(消耗品費等) 548千円</p> <p>○支援センター運営委託料(こうりゅう虹保育所) 2,232千円</p> <table border="1"> <tr> <td>国補</td> <td>子ども・子育て支援交付金(1/3)</td> <td>3,270千円</td> </tr> <tr> <td>府補</td> <td>子ども・子育て支援交付金(1/3)</td> <td>3,270千円</td> </tr> </table>						国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,270千円	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,270千円																																																	
国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,270千円																																																											
府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,270千円																																																											
成果・課題	<p>保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。</p>																																																												
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																																																												

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	05子育て短期支援事業	決算書	P.96
細事業名	01 子育て短期支援事業				決算書	P.96
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考)当初予算額		
684千円	709千円	25千円	96.4%	1,052千円		
目的	保護者が就労や疾病等の理由により家庭で養育することが一時的に困難となった場合、該当児童を乳児院等で一定期間養育し、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>家庭において、保護者が疾病その他の理由において児童を養育することが一時的に困難となった児童(小学校第4学年までの者)に対し、乳児院等で保護者に代わって養育する事業を社会福祉法人みねやま福祉会に委託した。 (延べ利用児童数134人)</p> <p>○子育て短期支援事業 子育て短期支援事業委託料 (延べ利用児童数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> Q、1歳児 <ul style="list-style-type: none"> 生活保護世帯 (1人) 21千円 母子父子・非課税世帯 (7人) 67千円 その他の世帯 (24人) 129千円 2歳児以上 <ul style="list-style-type: none"> 生活保護世帯 (68人) 374千円 母子父子・非課税世帯 (1人) 5千円 その他の世帯 (32人) 88千円 					
主な財源	子ども・子育て支援交付金 (1/3)		227千円			
	子ども・子育て支援交付金 (1/3)		227千円			
成果・課題	<p>○保護者の冠婚葬祭・就労・就学・傷病・学校等行事への参加による一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福利向上につなげることができた。</p> <p>○事業の円滑な利用のために、委託先の社会福祉法人みねやま福祉会と家庭ごと相談室の連携が必要である。</p>					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	08病後児保育事業	決算書	P.96
細事業名	01 病後児保育事業				決算書	P.96
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考)当初予算額		
2,415千円	2,444千円	29千円	98.8%	4,143千円		
目的	病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童を一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立等を支援するとともに、児童の福祉の向上を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>○病後児保育事業委託料 人件費(看護師及び保育士) 2,415千円 加算分(利用者10人以上50人未満) 2,012千円 低所得者減免分 402千円 (委託料は国基準により算定) 1千円</p> <p>※利用実績 申請件数 17件 (利用予定日 28日) 利用実績 12件 (利用日数 18日) 申請取下げ 5件</p> <p>取下げ理由: 病気が回復し、通常の保育所等へ通所可能になったため</p> <p>※利用者拡充のための取組状況 さようたんにあしらえ掲載、市内の小児科標榜医療機関でチラシ掲示 京丹後市HP掲載、FMたんご放送、幼稚園長・保育所長・小学校長へ制度周知 看護師が保護者向けのお便り作成・配布</p> <p>※病後児保育事業の概要 実施場所: ゆうかり子ども園内の専用スペース 実施体制: 看護師1人、保育士1人 利用定員: 1日6人以内 利用時間: 午前8時～午後6時 利用料: 2千円/日、4時間未満の場合1千円 (減額措置あり) 実施形態: みねやま福祉会へ委託</p>					
主な財源	子ども・子育て支援交付金 (1/3)		804千円			
	子ども・子育て支援交付金 (1/3)		804千円			
成果・課題	<p>○平成27年11月に事業開始し、保護者の子育てと仕事の両立を支援する体制を整えた。</p> <p>○利用のない日に看護師が地域の保育所等へ情報提供や巡回支援等を実施するなど制度を周知し、利用の拡大を図ることが課題である。</p>					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	50保育所一般経費	
細事業名	01 保育所一般経費				決算書 P.98
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	③-①
479,749千円		481,029千円		1,280千円	執行率 99.7%
					(参考)当初予算額 538,697千円
目的	保育所入所児童の健康管理、臨時職員等の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>保育環境を整え、運営が円滑に行われるよう、臨時保育士の任用や児童の健康管理経費、給食調理業務、広域入所委託費、職員の資質向上のための研修経費を支出した。</p> <p>○保育所運営に関する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨時職員（保育士、調理員、作業員）賃金及び共済費 461,729千円 健康診断実施手数料（非常勤職員）、大腸菌検査手数料 364,490千円 給食調理業務委託料（6保育所） 554千円 児童送迎運行、遠足等バス借上費用等 41,233千円 保育所用地借上料及び建物火災保険料 32,049千円 広域入所委託料（他市町村への入所委託費） ※実績 3人 1,326千円 備品購入費（保育所送迎車両、ドライブレコーダー19台） 3,134千円 各種負担金（日本スポーツ振興センター・府保育協会負担金ほか） 4,594千円 その他（消耗品費、燃料費、車検費用、重畳税、賠償金ほか） 600千円 <p>○児童の健康管理に関する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 嘱託医報酬（内科8人、歯科10人）、費用弁償等 13,749千円 6,008千円 ○園児検診委託料（耳鼻科・眼科・尿検査）、自動車借上料 5,453千円 555千円 ○職員の研修に関する経費 <ul style="list-style-type: none"> 講師謝礼、研修等参加旅費、負担金等 453千円 ○償還金利子及び割引料 453千円 11,559千円 ・過年度国庫支出金返還金 7,632千円 ・過年度府支出金返還金 3,927千円 				
主な財源	<p>負担金 保育料現年度分、日本スポーツ振興センター振興費、保護者負担金 118,816千円</p> <p>国庫・国庫補 子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金 ほか 1,928千円</p> <p>府庫・府庫補 子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金 ほか 33,215千円</p> <p>諸収入 一時預かり事業利用料、延長保育料、保育所給食調理機器賃付料 ほか 3,489千円</p> <p>市債 保育所送迎バス整備事業債（過年度債） 4,300千円</p>				
成果・課題	保育所運営を実施するために、施設管理、職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を実施することで、円滑な保育所運営を行うことができた。				
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課				

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	04園児等健康管理事業	
細事業名	01 園児等健康管理事業				決算書 P.146
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	③-①
274千円		427千円		153千円	執行率 64.1%
					(参考)当初予算額 427千円
目的	幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>園児の健康保持と増進のため、各種検診や検査を実施。</p> <p>○各種検診・検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 尿検査委託料 166人 20千円 眼科検診委託料 165人 51千円 耳鼻科検診委託料 167人 69千円 <p>○保健衛生消耗品・幼児健康診断票印刷代、医薬材料費 140千円</p> <p>○自動車借上料（眼科検診） 129千円</p> <p>5千円</p>				
主な財源					
成果・課題	<p>○学校保健安全法をはじめとする関係法令に基づき、各種検診・検査を適正に実施し、園児の健康管理及び健康づくりに努めた。</p> <p>○今後も園児の健康増進と予防に努める必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課				

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業	決算書	P.146
細事業名	02 幼稚園スーパースタ-等設置事業					
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考)当初予算額		
36,545千円	36,706千円	161千円	99.5%	37,041千円		
目的	幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正かつ円滑な幼稚園運営を行う。					
主要な事務・事業の概要	<p>クラスの園児数や園児の発育状況に応じ臨時職員を配置するとともに、特別な支援を必要とする園児に対しては、個別に指導計画を作成し、発達に応じた指導を継続的に実施していくことを目的に職員を配置した。</p> <p>また、保護者の就労等による幼稚園教育に対するニーズに、全園で預かり保育事業を行い、14時以降の保育についても適正な人員配置を行った。</p> <p>○ 臨時職員賃金 31,441千円 (H28年度)</p> <p>介護職員 8人 (6人)</p> <p>預かり保育職員 4人 (3人)</p> <p>介護・預かり保育職員 8人 (9人)</p> <p>作業員 1人 (1人)</p> <p>○ 共済費 (社会保険料・労災保険料等) 5,104千円</p> <p>○ 預かり保育の利用実績 (実人数) 74人 (62人)</p>					
主な財源	幼稚園保育料		8,941千円			
国補	子ども・子育て交付金 (1/3)	1,138千円				
府補	子ども・子育て交付金 (1/3)	1,138千円				
誌収入	幼稚園預かり保育料	4,077千円				
成果・課題	○クラスの園児数や特別な支援を必要とする園児を視野に入れた職員配置を行うことで、幼稚園の円滑な運営を行うことができた。 ○預かり保育については、今後も利用者の増加が予想されるため、利用者数の変動に柔軟に対応できる人員配置を行う必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業	決算書	P.146																																																														
細事業名	01 幼稚園管理運営事業																																																																			
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																																																																		
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考)当初予算額																																																																
13,833千円	14,456千円	623千円	95.6%	16,013千円																																																																
目的	適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学前前教育の充実を図る。																																																																			
主要な事務・事業の概要	<p>幼稚園運営に必要な維持管理を行い、必要経費を支出した。預かり保育事業の実施により、保護者の就労等による幼稚園における子育て支援のニーズに、対応することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">園児数 (H30.3.1現在)</th> <th colspan="3">預かり保育 (実人数)</th> </tr> <tr> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山幼稚園</td> <td>14人</td> <td>7人</td> <td>14人</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>大宮幼稚園</td> <td>15人</td> <td>20人</td> <td>22人</td> <td>6人</td> <td>12人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>網野幼稚園</td> <td>4人</td> <td>14人</td> <td>6人</td> <td>人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>丹後幼稚園</td> <td>4人</td> <td>9人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>弥栄幼稚園</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>かぶと山幼稚園</td> <td>4人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46人</td> <td>66人</td> <td>58人</td> <td>18人</td> <td>37人</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○バス運転委託料、自動車借上料 (園外活動) 128千円</p> <p>○一般管理経費 13,705千円</p> <p>教諭研修等旅費等 915千円</p> <p>消耗品費・燃料費・光熱水費等 11,439千円</p> <p>各種負担金 184千円</p> <p>備品購入費 456千円</p> <p>通信運搬費・各種手数料等 413千円</p> <p>使用料及び賃借料 298千円</p>							園児数 (H30.3.1現在)			預かり保育 (実人数)			3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児	峰山幼稚園	14人	7人	14人	2人	4人	3人	大宮幼稚園	15人	20人	22人	6人	12人	7人	網野幼稚園	4人	14人	6人	人	6人	1人	丹後幼稚園	4人	9人	4人	2人	6人	1人	弥栄幼稚園	5人	5人	4人	5人	4人	2人	かぶと山幼稚園	4人	11人	8人	3人	5人	5人	計	46人	66人	58人	18人	37人	19人
	園児数 (H30.3.1現在)			預かり保育 (実人数)																																																																
	3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																														
峰山幼稚園	14人	7人	14人	2人	4人	3人																																																														
大宮幼稚園	15人	20人	22人	6人	12人	7人																																																														
網野幼稚園	4人	14人	6人	人	6人	1人																																																														
丹後幼稚園	4人	9人	4人	2人	6人	1人																																																														
弥栄幼稚園	5人	5人	4人	5人	4人	2人																																																														
かぶと山幼稚園	4人	11人	8人	3人	5人	5人																																																														
計	46人	66人	58人	18人	37人	19人																																																														
主な財源	幼稚園保育料		3,589千円																																																																	
国補	幼稚園就園奨励費補助金 (1/3)	12千円																																																																		
成果・課題	○幼児期の特性を踏まえ、児童の環境に応じた教育を行うことを基本に、人格形成に基礎を培う就学前前教育の場を提供することができた。 ○今後さらに、市域における就学前前教育の充実を図ることが必要である。																																																																			
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																																																																			

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	05幼稚園施設管理事業	決算書	P.146
細事業名	01 幼稚園施設管理事業					
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率
30,819千円		31,029千円		210千円		99.3%
目的	幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>市内6幼稚園について、幼稚園を運営する上で必要な検査、保守管理委託、事務機器のリース、施設修繕等を実施した。</p> <p>また統廃合により、空き施設となった旧峰山幼稚園園舎の解体工事を実施した。</p> <p><支出内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ○修繕料 255千円 <ul style="list-style-type: none"> ・網野幼稚園照明器具取替、大宮幼稚園自家用電気工作物部品取替等 ○役員費 310千円 <ul style="list-style-type: none"> ・貯水槽法定検査手数料 31千円 ・建物火災保険料 279千円 ○施設管理等委託料（10業務） 828千円 <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備、消防設備、遊具、貯水槽、自動ドアの点検業務 ・電気設備保守管理、施設警備、害虫駆除 等 ○事務機器等リース料 44千円 <ul style="list-style-type: none"> ・複写機 4台 ・印刷機 2台 ○旧峰山幼稚園園舎等解体撤去工事 28,540千円 <ul style="list-style-type: none"> ・設計監理委託料 1,588千円 ・工事請負費 26,952千円 ○その他工事 842千円 <ul style="list-style-type: none"> ・網野幼稚園修繕工事 ほか <p>市債 旧幼稚園施設解体事業債（合併特例債） 27,000千円</p>					
主な財源						
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の維持管理を適切に行うことで、円滑な幼稚園の運営を行うことができた。 ○旧園舎を解体することで、今後の未利用施設の有効活用に寄与した。 					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	047ファミリー・サポート・センター事業	決算書	P.96
細事業名	01 ファミリー・サポート・センター事業					
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率
65千円		67千円		2千円		97.0%
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>新規および登録済みのまかせて会員を対象に、援助活動に必要な専門的な知識の取得やスキルアップを目的とした講習会を実施した。また、会員の交流を深めるための会員交流会を実施した。</p> <p>○実施事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録会員講習会及び登録更新講習会 参加者 4人 ・救命講習会 参加者 4人 <p>○会員数（30年3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おねがひ会員 58人 ・まかせて会員 21人 ・両方会員 1人 ※活動延件数 57件 ※利用者実人数 依頼（おねがひ）会員：9人 援助（まかせて）会員：7人 <p>○事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（普通旅費） 2千円 ・役員費（補償保険料） 56千円 ・使用料及び賃借料 7千円 					
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 国補 子ども・子育て支援交付金（1/3） 21千円 府補 子ども・子育て支援交付金（1/3） 21千円 					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○援助会員の講習会で、受講者に子どもの世話や看病の仕方を再確認する機会を提供し、援助技能の向上を図った。 ○昨年度の2倍を超える利用実績があったものの、利用実人数は昨年度と概ね同じであり、利用者を増やすことが課題である。 					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	06子ども未来まちづくり審議会事業	決算書	P.96						
細事業名	01 子ども未来まちづくり審議会事業											
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進											
決算	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率						
	66千円	184千円	118千円			35.8%						
目的	すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画等、特定教育・保育施設の利用定員の設定を審議する。											
主要な事務・事業の概要	<p>平成27年度に策定した子ども子育て支援事業計画及び京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況を確認し、子育て施策等に係る意見を聴取するため審議会を開催した。</p> <p>○報酬（審議会委員） 委員：10人 2回開催 56千円 ○旅費（費用弁償） 10千円</p> <p>○審議会開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程等</th> <th>審議内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回会議 (7月20日)</td> <td>・第2次京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</td> </tr> <tr> <td>第2回会議 (1月16日)</td> <td>・子ども未来まちづくり審議会について ・放課後子ども総合プランについて ・平成29年度主要事業について</td> </tr> </tbody> </table>						日程等	審議内容	第1回会議 (7月20日)	・第2次京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について	第2回会議 (1月16日)	・子ども未来まちづくり審議会について ・放課後子ども総合プランについて ・平成29年度主要事業について
日程等	審議内容											
第1回会議 (7月20日)	・第2次京丹後市保育所再編等推進計画の進捗状況について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について											
第2回会議 (1月16日)	・子ども未来まちづくり審議会について ・放課後子ども総合プランについて ・平成29年度主要事業について											
主な財源												
成果・課題	<p>○子ども・子育て支援事業計画や保育所再編等推進計画に基づき、事業の進捗状況や今後の子育て支援における課題等について議論することができた。</p> <p>○子ども・子育て支援事業計画の進捗管理のほか、多様化する子育て支援ニーズへの対応のため、子どもや子育てに関わる事項の調査や実態を把握する必要がある。</p>											
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課											

京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	松本 晃治

重点目標	2 確かな学力・生き抜く力を育みます
基本的方針	小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。 一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。

1. 施策の方向性

PLAN

1. 小中一貫教育の推進	<p>①「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む小中一貫教育を着実に進めます。</p> <p>②中学校区を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を進めます。</p> <p>③小中一貫教育等について保護者や地域の理解を得るとともに連携を深めるため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供の機会を拡充します。</p> <p>④学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。</p> <p>⑤小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校評価を充実します。</p>
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	<p>①子どもの発達や学習の特性等に応じた保幼小中一貫の教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校修了までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。</p> <p>②教職員の授業実践力や生徒指導力を高める研修を充実します。</p> <p>③加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。</p> <p>④京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇り、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。</p> <p>⑤子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。</p> <p>⑥中学校区を単位として学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。</p> <p>⑦市民が学校の教育活動を積極的に支援する学校支援ボランティアの取り組みを拡充します。</p> <p>⑧放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。</p>
3. 確かな学力の育成	<p>①小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間の系統的な学習指導を実現します。</p> <p>②全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に進めます。</p> <p>③すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。</p> <p>④「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。</p> <p>⑤自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。</p> <p>⑥家庭学習が定着するよう、学校と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。</p> <p>⑦学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校、高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。</p>
4. 社会を生き抜く力の育成	<p>①子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。</p> <p>②「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。</p> <p>③児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲を高めるため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。</p> <p>④小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。</p>

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

※各事業の評価・課題については、別紙決算附属資料参照

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN

DO

CHECK

ACT

1. 小中一貫教育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>①「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む小中一貫教育を着実に進めます。</p> <p>② 中学校区を単位とした共通の目指す子ども像を設定し、その実現に向けて系統的で一貫性のある学校園の教育活動を進めます。</p> <p>③ 小中一貫教育等について保護者や地域の理解を得るとともに連携を深めるため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供の機会を拡充します。</p> <p>④ 学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証、評価し、取り組みの改善を進めます。</p> <p>⑤ 小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校評価を充実します。</p>						
1	小中一貫教育推進事業 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。	学校教育課	684	530	571	現状維持
2	小中一貫教育実践事業 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の推進に向け、市内全域で小中一貫教育を実践する。	学校教育課	6,341	6,132	6,493	現状維持
2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 子どもの発達や学習の特性等に応じた保幼小中一貫の教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校修了までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。</p> <p>② 教職員の授業実践力や生徒指導力を高める研修を充実します。</p> <p>③ 加配教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。</p> <p>④ 京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇り、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校</p> <p>⑤ 子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。</p> <p>⑥ 中学校区を単位として学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。</p> <p>⑦ 市民が学校の教育活動を積極的に支援する学校支援ボランティアの取り組みを拡充します。</p> <p>⑧ 放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。</p>						
3	授業実践力向上対策事業 授業実践力開発講座、小中一貫検証講座及び教育実践力サポート講座を開設し、教員の資質向上を図る。	学校教育課	392	353	-	統合(整理)
4	学習支援体制整備事業 「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。	学校教育課	30,158	1,743	2,520	拡大
5	学校支援地域本部事業《再掲》 「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。	生涯学習課	-	-	-	現状維持
3. 確かな学力の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間の系統的な学習指導を実現します。</p> <p>② 全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に進めます。</p> <p>③ すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。</p> <p>④ 「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。</p> <p>⑤ 自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。</p> <p>⑥ 家庭学習が定着するよう、学校と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。</p> <p>⑦ 学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校、高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。</p>						
6	教科用図書採択事業 市立小学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行うため、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行う。	学校教育課	-	40	102	現状維持
7	小学校教育振興事業 副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。	学校教育課	24,280	26,471	35,161	現状維持
8	小学校教育振興備品整備事業 授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。	学校教育課	10,308	11,131	10,777	現状維持
9	小学校就学援助事業 要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。	学校教育課	19,084	19,042	20,797	現状維持
10	中学校教育振興事業 副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。	学校教育課	36,495	32,444	33,741	現状維持

11 中学校教育振興備品整備事業	学校教育課	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。	10,085	9,010	8,308	現状維持
12 中学校就学援助事業	学校教育課	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。	25,902	26,123	24,236	現状維持
4. 社会を生き抜く力の育成			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
1	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①	子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。					
②	「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通じた探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。					
③	児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲を高めるため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。					
④	小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。					
13 学校情報化推進事業	学校教育課	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、電子黒板を導入し、ICTを活用した学習環境を推進する。	22,232	32,782	18,795	拡大
14 小・中学校情報教育環境整備事業【再編交付金活用事業】《再掲》	学校教育課	平成26年度に整備した市内の全小中学校27校(小学校20校、中学校7校)の情報教室パソコン等について、平成29年度分のリース料を支出する。	-	-	-	現状維持
15 児童生徒国際交流事業	学校教育課	語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、国際交流事業を推進する。	3,300	3,345	3,933	現状維持
16 外国語指導助手招致事業	教育総務課	外国青年を外国語指導助手(ALT)として招致・任用し小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。	27,705	25,858	29,288	現状維持
17 国際交流員招致事業	学校教育課	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。	2,997	4,265	3,509	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課	H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
18 奨学金事業	教育総務課	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。	28,303	23,672	19,563	改善・効率化
		計	241,925	216,809	211,301	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本の方針	小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。 一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。						
	目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度	目標値 年度		
主な目標指標	学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)	中学校区	0 H25	6学園 H29	6(全中学校区で実施)	H36	
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童の割合<小学生>	%	73.2 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙(小6)	H25 76.2 H29	80%以上	H36	
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の生徒の割合<中学生>	%	50.6 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(中3)	H25 60.2 H29	70%以上	H36	
	一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着	%	小中学校各教科の全国平均正答率	H29 全教科全国平均以上	市平均の全教科全国平均以上	H36	
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合<中学生>	%	70.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(中3)	H25 67.7 H29	90%以上	H36	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK ACT

進捗状況区分	評価	29年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	<p>《学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)》 全ての学校の学校関係者評価の重点項目及び具体的方策に「本市の小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤とした作成」を求めたこと、全ての園の学校関係者評価の必須項目に「小中一貫教育の推進」を設定したことにより、学園の取組等についての検証・評価を各校園単位でもPDCAサイクルで進めることができた。また、全ての学園に設置された学校と地域との連携組織で学園評価を進めることも大きく前進した。</p> <p>《学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合》 小中一貫教育の推進により、各学園で「家庭学習の手引き」を作成するなど、学習習慣の定着に向けた指導や取組を行っている効果が徐々に表れ、中学生では、家庭学習時間が増加傾向にある。ただ小中学校とも目標値にはあと一歩届いていない状況が見られるので、中心的に取り組む期間だけでなく、家庭学習の充実に向けた家庭との連携を日常的に進め、小中学校での家庭学習習慣の定着をより一層図っていく必要がある。</p> <p>○ 《一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着》 平成29年度の本市の全国学力・学習状況調査結果は、全ての教科で正答率が全国平均を上回った。これは、各学園・学校が本調査等の結果を分析し、授業改善や個の課題に応じた支援を行ったことや小中一貫教育の推進により、指導方法の一貫性、連続性、系統性を意識した指導が確実に定着してきている成果と考えている。引き続き、児童生徒の学力の維持・向上を図るため、授業改善や各学園での授業研究等を推進していく必要がある。</p> <p>《将来の夢や目標を持っている生徒の割合》 将来の夢や目標を持っていると回答した本市生徒の割合は、前年度比で増加しているものの全国・府平均より低い状況にある。引き続き、キャリア教育の視点も入った「丹後学」のモデルカリキュラムを積極的に活用するとともに、生徒の自己肯定感を高める取組や特に中学校の職場体験等を通じたキャリア教育のより一層の推進・充実を図っていく必要がある。</p>	
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(平成30~32年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	28年度からの小中一貫教育の全市展開を踏まえ、学園単位によるPDCAサイクルの確立とその検証・評価に基づく小中一貫教育推進基本計画等の適切な改訂を行う。また、各学園を会場とした市教育フォーラム等の啓発活動により、教職員・保護者・地域住民への成果の明確化を図る。
	2	学園コーディネーター等の配置を継続し、各学園に設置された学校・地域連携協議会の更なる充実を図るとともに、学校、家庭、地域が連携した学習環境の体制作り、目指す子ども像に基づく学校・地域が連携した取組等の企画・立案を推進する。
	3	小中一貫教育モデルカリキュラム及び保幼小接続モデルプラン等の改訂・活用による各学園での系統的で一貫性のある指導を充実させるため、授業改善・授業研究を更に推進するとともに、全国学力・学習状況調査の学園分析結果を活用し個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
	4	総合的な学習の時間を活用した「丹後学モデルカリキュラム」の自校化に向けた取組の推進と興味・関心・意欲を高めるICT機器の整備推進を図るとともに、中学生の海外派遣や児童生徒の国際交流等を推進することにより、国際社会を生きる日本人としての基礎的な能力の育成を図る。

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業	決算書 P.140
細事業名	01 小中一貫教育推進事業				
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額
	530千円	695千円	165千円	76.2%	695千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目標としたより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。				
主要な事務・事業の概要	<p>小中一貫教育推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行った。また、モデルカリキュラムやモデルプラン等の活用を図るとともに、その成果・課題、児童生徒の状況等を把握・評価しながら小中一貫教育推進基本計画の見直しと改訂を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償） 99千円 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員 13人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等） ・協議会の開催 2回 ・調査研究事業 小中一貫教育実施校における効果と課題の整理 ○学校教育連携専門部会（印刷製本費） 299千円 <ul style="list-style-type: none"> ・専門部会 学校運営部員 6人 カリキュラム作成部員 4人 ・開催回数 学校運営部会 3回 カリキュラム作成部会 3回 外国語（3回） ○教育フオーラムの開催（消耗品費） 1千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育フオーラム（参加者：101人） 開催日：平成29年11月14日（火） 場所：大宮中学校 ○小中一貫教育全国サミット視察研修（旅費、参加資料代等） 131千円 開催日：平成30年1月25日・26日 開催地：京都市（参加者：14人） 				
主な財源					
成果・課題	○平成28年度より小中一貫教育が市内全域での実施となり、小中一貫教育推進基本計画に基づきより良い教育体制の整備を推進することができた。 ○小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ねた。 ○引き続き、小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業	決算書 P.140
細事業名	02 小中一貫教育実践事業				
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額
	6,132千円	6,743千円	611千円	90.9%	7,168千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目標としたより良い教育の推進に向け、市内全域で小中一貫教育を実践する。				
主要な事務・事業の概要	<p>○小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） 4,480千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山学園（合唱祭、清掃活動、部活・授業体験、リーフレット作成等） ・大宮学園（合唱祭、清掃活動、情報モラル研修、リーフレット作成等） ・網野学園（合唱祭、部活動体験、リーフレット作成等） ・丹後学園（合唱祭、小小連携交流会、教育講演会、リーフレット作成等） ・弥栄学園（合唱祭、心の文化発表会、部活動体験、小中合同授業等） ・久美浜学園（合唱祭、小小連携交流会、リーフレット作成、部活動体験等） <p>・特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 1,652千円 実施校：小学校18校、中学校5校 主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験、心の学習、ものづくり体験 地域連携、性の学習等</p>				
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 4,000千円				
成果・課題	○小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○合唱祭等の小小連携、合同授業等の小小連携、合同避難訓練等の幼保小中連携等、学園内の小中学校が連携した教育活動の充実を図ることができた。				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業	決算書	P.140
細事業名	03 授業実践力向上対策事業					
総合計画	26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額		
	353千円	452千円	99千円	78.0%	452千円	
目的	授業実践力開発講座、小中一貫検証講座及び教育実践力サポート講座を開設し、教員の資質向上を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>教職員が指導理論を学ぶ授業実践力開発講座及び検証講座を実施した。また、小中学校教員が実践課題を克服し、創意工夫、改善を加えた授業への実践力を身に付けるため、教育実践力サポート講座を実施した。</p> <p>○授業実践力開発講座（講師謝金ほか） 263千円 経験豊富な教職員をコーディネーターとして委嘱し、小グループによる指導案検討のワークショップや公開授業を実施した。また、市外先進校を視察し、学習指導や学級経営の在り方について研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授 ・開催回数 全7回（うち1回が市外先進校視察） ・参加者 12人（うち小学校8人、中学校4人） <p>○授業実践力小中一貫検証講座（講師謝金） 60千円 授業力の検証に資する講座として実施した。授業構構、実践と評価などについて、講師の指導助言も得ながら、研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授 ・開催回数 2回 ・参加者 45人（弥栄小学校9人、弥栄学園36人） <p>○教育実践力サポート講座（講師謝金） 30千円 各講座において、専門性の高い講師による指導により参加者の実践力を高め、講座での学びを勤務校において広げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施教科 音楽（4回）、外国語（2回） ・学級経営（1回）、算数（1回） ・参加者 延々57人 					
主な財源						
成果・課題	<p>○大学院教授の講義による理論研修とグループ研修を通して、児童生徒の主体的な学習活動の展開、質の高い授業づくり及び学級経営など、授業実践力等の向上に資することができた。</p> <p>○小中学校の教員がそれぞれの授業を参観し、感想や意見交流をすることで、授業実践についての学びが深まり、義務教育9年間を見通した教員の指導力向上に資することができた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業	決算書	P.140
細事業名	02 学習支援体制整備事業					
総合計画	26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額		
	1,743千円	1,875千円	132千円	92.9%	2,934千円	
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。					
主要な事務・事業の概要	<p>地域ぐるみでの放課後学習の環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を継続するとともに、土曜日を活用した教育活動の実証研究を行った。</p> <p>○教育活動の実証研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の放課後学習支援 <ul style="list-style-type: none"> 小学生放課後わくわく自習室（運営委託料） 175千円 地域人材を活用し、地区公民館等を会場に、毎週水曜日の放課後等に学習支援を行った。 実施地区（地域）：宇川連合区、佐野甲区、奥大野区 <p>・中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 1,073千円 学習が遅れがちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日を活用した教育活動（消耗品費、役務費） 495千円 第二土曜日を「わくわく学びサタデー」に設定し、各学校の創意工夫による教育活動の実証研究を全小中学校で実施した。 					
主な財源	<p>府補 地域で支える学校教育推進事業補助金（2/3） 832千円</p> <p>府委 土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費委託金（10/10） 120千円</p>					
成果・課題	<p>○小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を3地区（地域）で継続実施すること、地域と学校が連携した学びの支援体制づくりの検証を進めることができた。</p> <p>○中学生の放課後学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習支援を行うことができた。</p> <p>○放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を踏まえ、ニーズに応じた支援体制を構築する必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	09教科用図書採択事業	決算書 P.140
細事業名	01教科用図書採択事業				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
40千円		40千円	0千円	100.0%	40千円
目的	市立小学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行うため、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行う。				
主要な事務・事業の概要	<p>平成30年度から使用する小学校の教科用図書（特別の教科 道徳）について、公正かつ適正な採択を行うために、丹後教科用図書採択地区協議会において文部科学省の教科書目録に掲載された教科用図書を調査・研究した。</p> <p>○丹後教科用図書採択地区協議会分担金 40千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成団体（2市2町1組合） <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市・宮津市・伊根町・与謝野町教育委員会 与謝野町宮津市中学校組合教育委員会 ・委員（20人） <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会教育長 4人 教育委員会委員 16人 				
主な財源					
成果・課題	丹後教科用図書採択地区協議会からの選定結果に沿って、平成30年度から市立小学校で使用する教科用図書について、公正かつ適正な採択を行うことができた。				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	01小学校教育振興事業	決算書 P.144
細事業名	01小学校教育振興事業				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
26,471千円		27,461千円	990千円	96.3%	27,339千円
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 <ul style="list-style-type: none"> ・入学記念品（366人） 1,306千円 ・卒業記念品（469人） 276千円 ・卒業記念品（469人） 1,030千円 ○旅費 3千円 ・費用弁償（大地の学習講師費用弁償） ○需用費 17,372千円 ・消耗品費 17,156千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品、児童会活動費、理科実験費、道徳副読本、部活動費、 学力検査、道徳教科書・指導書（教職員用）ほか ・燃料費（大地の学習研修送迎車用燃料） 2千円 ・印刷製本費 214千円 <ul style="list-style-type: none"> 社会科副読本「わたしたちのさようたんご」 500部（3年生） ○委託料 4,728千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス定期外運行運転委託料、児童移送業務委託料 ○使用料及び賃借料 3,048千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料 ○負担金、補助及び交付金 14千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加負担金（山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会） <p>開催日：平成29年10月28日（土） 場 所：但馬ドーム周辺駅伝コース 参加校：長岡小、網野北小、橋小 参加人数：25人（5チーム）</p>				
主な財源					
成果・課題	<p>学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	02小学校教育振興備品整備事業	決算書 P.144
細事業名	01 小学校教育振興備品整備事業				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	11,131千円	11,557千円	426千円	96.3%	11,357千円
目的	授業に必要な教材備品や学校図書や学校図書を計画的に整備し、児童の主體的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。				
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料（教材備品の修繕） 199千円 ○役員費 3千円 ・図書システムソフトウェア再設定手数料 <p>○使用料及び賃借料 103千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア使用料（全小学校） <p>○備品購入費 10,826千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品整備 4,227千円 ・学校図書整備 4,534千円 ・理科教育等設備整備（理科・算数備品） 2,065千円 				
主な財源	国補 理科教育設備整備費補助金（1/2） 1,012千円				ふるさと応援基金繰入金 5,000千円
成果・課題	<p>○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科（算数）教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p> <p>○新学習指導要領の導入を見据え、学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。</p>				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	03小学校就学援助事業	決算書 P.144
細事業名	01 小学校就学援助事業				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	19,042千円	19,441千円	399千円	97.9%	20,711千円
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。				
主要な事務・事業の概要	<p>○就学援助費 17,824千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護認定者 21人（H28 26人） 225千円 ・修学旅行費 115千円 ・医療費 110千円 ・準要保護認定者 243人（H28 259人） 16,141千円 ・学用品費等 4,692千円 ・給食費 10,226千円 ・修学旅行費 1,070千円 ・医療費 153千円 ・準要保護認定者（被災児童）2人（H28 2人） 118千円 ・学用品費等 30千円 ・給食費 88千円 <p>※ 申請者数 297人（H28 314人） 認定者数 266人（H28 287人）</p> <p>・平成30年度入学者新入児童生徒学用品費入学前支給分 1,340千円 支給者数 33人（H29から新規） ※平成30年3月16日支給</p> <p>○特別支援教育就学奨励費 1,218千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 40人（H28 46人） 1,218千円 ・学用品費等 262千円 ・給食費 822千円 ・修学旅行費 134千円 <p>国補 就学援助費補助金（1/2） 109千円 国補 特別支援教育就学奨励費補助金（1/2） 595千円</p>				
主な財源	国補 就学援助費補助金（1/2） 109千円 国補 特別支援教育就学奨励費補助金（1/2） 595千円				
成果・課題	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○新入児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	01中学校教育振興事業	決算書 P.146
細事業名	01 中学校教育振興備品整備事業				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	32,444千円	35,751千円	3,307千円	90.7%	35,751千円
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動や異なった学年が参加する部活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 <ul style="list-style-type: none"> ・入学記念品 (462人) 1,189千円 ・卒業記念品 (549人) 252千円 ○需用費 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 937千円 ・学用品、学力検査、指導書、道徳副読本ほか 11,347千円 ・印刷製本費 11,028千円 ・社会科副読本「京丹後市の歴史」510部 ※中学1年生に配付 319千円 ○役員費 54千円 ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器運搬手数料 14,967千円 ・スクールバス定期外運行運転委託料 771千円 ○使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料 247千円 ・有料道路通行料 489千円 ・駐車場使用料 35千円 ○負担金、補助及び交付金 4,116千円 <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会等選手派遣費補助金 				
主な財源					
成果	<p>学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	02中学校教育振興備品整備事業	決算書 P.146
細事業名	01 中学校教育振興備品整備事業				
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	9,010千円	9,395千円	385千円	95.9%	9,407千円
目的	授業に必要な教材備品や学校図書や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。				
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <p>また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 237千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 (教材備品の修繕) ○役員費 321千円 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器調整手数料 ○使用料及び賃借料 32千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア使用料 (全中学校) ○備品購入費 8,420千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品整備 5,105千円 ・学校図書整備 1,976千円 ・理科教育等設備整備 (理科・数学備品) 1,339千円 				
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 国庫 理科教育設備整備費補助金 (1/2) 669千円 繰入金 ふるさと応援基金繰入金 5,000千円 				
成果	<p>○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めることと、理科(数学)教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p> <p>○新学習指導要領の導入を見据え、学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。</p>				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	03中学校就学援助事業	決算書	P.146
細事業名	01 中学校就学援助事業					
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額		
	26,123千円	26,467千円	344千円	98.7%	26,124千円	
目的	要保護者、障害保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○就学援助費 24,357千円 <ul style="list-style-type: none"> ・要保護認定者 16人 (H28 18人) 433千円 ・修学旅行費 0千円 ・医療費 4,337千円 ・標準保護認定者 172人 (H28 190人) 21,981千円 ・学用品費等 9,652千円 ・給食費 7,943千円 ・修学旅行費 4,377千円 ・医療費 9千円 ※申請者数 205人 (H28 230人) 認定者数 188人 (H28 209人) ・平成30年度入学新入児童生徒学用品費入学前支給分 1,943千円 支給者数 41人 (H29から新規) ※平成30年3月16日支給 ○特別支援教育就学奨励費 1,766千円 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 32人 (H28 41人) 1,766千円 ・学用品費等 497千円 ・給食費 746千円 ・修学旅行費 523千円 					
主な財源	国補 就学援助費補助金 (1/2) 216千円				特別支援教育就学奨励費補助金 (1/2) 834千円	
成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	07学校情報化推進事業	決算書	P.140
細事業名	01 学校情報化推進事業					
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額		
	32,782千円	32,794千円	12千円	99.9%	38,778千円	
目的	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、電子黒板を導入し、ICTを活用した学習環境を推進する。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内全小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行う。また、市内全小中学校の6年生教室に電子黒板等の整備を行った。 ○需用費 1,697千円 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン・校内LAN関連消耗品 17千円 ・パソコン・校内LAN関連修繕費 (44件) 1,680千円 ○委託料 5,223千円 <ul style="list-style-type: none"> ・サーバーシステム・パソコン・校内LAN保守委託料 3,533千円 ・校務支援システム操作研修委託料 197千円 ・各種システム保守委託料 (校務支援、グループウェア) 1,426千円 ・パソコン整備委託料 (教職員異動に伴うパソコン設定作業) 67千円 ○使用料及び賃借料 8,075千円 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン借上料 3,534千円 ・サーバーシステム借上料 (8台) 4,541千円 ・ソフトウェア使用料 校務支援システム、ウイルス対策ソフト (1,530台分) ほか ○備品購入費 17,787千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板等購入 (市内全小中学校6年生23学級) 17,787千円 ・タッチパネル式電子黒板 (23台)、タブレット型パソコン (23台) 					
主な財源	市債 小学校施設整備事業債 (過疎対策債) 17,700千円					
成果・課題	○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、全小中学校に整備した校内LAN、1,756台のパソコン (校務、普通教室、情報教室) 及びサーバー機器の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。 ○全小中学校6年生教室へ電子黒板等の整備を行い、情報教育環境の充実を図った。 ○新学習指導要領に対応した学校のICT環境水準の維持・向上を図るため、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	15児童生徒国際交流事業	決算書	P.140
細事業名	01 児童生徒国際交流事業					
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率
3,345千円		3,602千円		257千円		92.8%
目的	<p>語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、国際交流事業を推進する。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>○小学生の国際交流 平成27年6月のケネディ駐日大使の来丹を契機に、鳴き砂の浜があるマサチューセッツ州のマンチエスター・メモリアル小学校と島津小学校との交流を行い、児童が製作する作品の交換等を行った。 消耗品費、通信運搬費、ビデオ撮影・編集委託料</p> <p>○小中学生文化体験（消耗品費） 小中学生を対象とした異文化理解・国際交流プログラムを実施した。</p> <p>○中学生の海外派遣 学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するための海外派遣した。 派遣先：ニューシーランド ニュープリマス市 スポッツウッド・カレッジ 派遣期間：平成30年3月14日（水）～22日（木）の8泊9日間 派遣生徒：中学2年生 15人（選考により決定）</p> <p>・海外派遣 報償物品、旅費、燃料費、通信運搬費、バス運転委託料 有料道路通行料、中学生海外派遣事業費補助金 ほか ・その他（事前研修会等）経費 講師謝金、消耗品費 ほか</p>					
主な財源	<p>繰入金 韓哲・まろづくり夢基金繰入金 3,264千円</p>					
成果・課題	<p>○小学生国際交流、小中学生文化体験及び中学生海外派遣を行い、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、国際交流事業を推進することができた。 ○国際的視野を持った児童生徒を育成するため、国際交流事業の取組の充実を図る必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	01外国語指導助手招致事業	決算書	P.142
細事業名	01 外国語指導助手招致事業					
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率
25,858千円		26,014千円		156千円		99.4%
目的	<p>外国青年を外国語指導助手（ALT）として招致・任用し小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。</p>					
主要な事務・事業の概要	<p>小中学校において外国語教育及び国際理解教育を促進するため、自治体国際化協会のJETプログラム事業によるあっせんを受け、外国語指導助手を招致・任用し、その経費を支出した。</p> <p>○報酬等 25,040千円 ・外国語指導助手6人の報酬、社会保険料 ・外国語指導助手支援員の謝金、賃金等</p> <p>○旅費等 132千円 ・研修旅費（6人分）</p> <p>○住居に要する費用等 109千円 ・火災保険料、借家更新料等</p> <p>○負担金 577千円 ・自治体国際化協会負担金</p>					
主な財源	<p>諸収入 ふるさと応援基金繰入金 10,000千円</p>					
成果・課題	<p>外国語指導助手を各中学校に1人ずつ配置することで、児童・生徒に生じた外国語や外国文化を学ぶ機会を直接的・継続的に確保することができ、外国語教育と国際理解教育の促進につなげることができた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/教育総務課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	02国際交流員招致事業	決算書	P.142
細事業名	01 国際交流員招致事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額	
	4,265千円	4,350千円	85千円	98.0%	4,350千円	
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプロگرام）」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。					
主要な事務・事業の概要	<p>国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性・見識や経験を活かした指導、助言を行った。</p> <p>○報酬、共済費</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流員報酬（1人） 4,041千円 (280千円×4か月（平成29年4月～平成29年7月）） 3,520千円 (300千円×8か月（平成29年8月～平成30年3月）） 社会保険料、雇用保険料 521千円 <p>○旅費</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流員等の研修（費用弁償、普通旅費） 128千円 <p>○自治体国際化協会負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流員人員副、傷害保険負担金 96千円 					
主な財源	諸収入 保険解約返戻金 1千円					
成果・課題	国際交流員を配置し、国際交流関係事業の実施や児童生徒の国際理解教育の推進を行うことができた。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	01奨学金事業	決算書	P.142
細事業名	01 奨学金事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額	
	23,672千円	23,747千円	75千円	99.6%	26,655千円	
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。					
主要な事務・事業の概要	<p>経済的に困窮している世帯（家庭）の勉学意欲のある高等学校、高等専門学校、専修学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の生徒、大学生、短期大学生、大学院生を対象に奨学金を給付した。また、平成29年度大学等在学普及び平成30年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。</p> <p>○奨学金選考・検討委員会委員の報酬及び費用弁償</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 80千円 委員 4千円（半日）×6人×3回 72千円 費用弁償 8千円 <p>○給付奨学金</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生 17,560千円 月額 5千円×12月×86人 5,200千円 月額 5千円×8月×1人 大学生等 12,360千円 月額 10千円×12月×103人 (大学73人、短期大学8人、専修学校21人、高等専門学校1人) <p>○貸付奨学金</p> <ul style="list-style-type: none"> 修学支援金（4人） 6,032千円 大学生等 1,000千円×3人 3,232千円 大学生等 232千円×1人 入学支度金（4人） 2,800千円 進学予定者 700千円×4人 					
主な財源	<p>繰入金 奨学金基金繰入金 17,560千円</p> <p>繰入金 谷口謙・未来応援基金繰入金 6,032千円</p>					
成果・課題	<p>○厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。</p> <p>○高校生及び大学生等を対象とした給付奨学金について、国・府による支援制度を踏まえ、対象者を一定整理し、平成30年度より修学困難な大学生等を支援する制度へ見直しを行った。</p> <p>○奨学金をより長く運用していくため、公的支援制度の動向を注視する必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/教育総務課					